

官報

號外

昭和十年二月二十四日

○第六十七回衆議院議事速記録第十八號

帝國議會

昭和十年二月二十三日(土曜日)

午後一時四十三分開議

議事日程 第十七號

昭和十年二月二十三日

午後一時開議

第一 倉庫業法案(政府提出) 第一讀會
第二 市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法中改正法律案(政府提出)

第三 傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案(江藤源九郎君提出) 第一讀會

第四 傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案(上原平太郎君外二名提出) 第一讀會

第五 私生子ノ名稱ニ關スル法律案(二松定吉君外六名提出) 第一讀會

第六 建築士法案(手代木隆吉君外七名提出) 第一讀會

第七 家祿賞典給與未濟ニ關スル法律案(八田宗吉君外七名提出) 第一讀會

第八 郷又ハ町村祿高ニ對シ公債證書給與ニ關スル法律案(寺田市正君外三名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第九 敦賀清津羅津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案(熊谷五右衛門君提出) (委員長報告)

第十 諫早早岐間ガソリンカー運轉開始ニ關スル建議案(佐保畢雄君提出) (委員長報告)

第十一 大阪市内貫通西成線高架改築ニ關スル建議案(上田孝吉君外一名提出) (委員長報告)

第十二 尼崎三田間ガソリンカー運轉ニ關スル建議案(蔭山貞吉君提出) (委員長報告)

第十三 常願寺川改修ニ關スル建議案(石坂豐一君外五名提出) (委員長報告)

第十四 藏王山一帯地域國立公園指定ニ關スル建議案(佐々木家壽治君外一名提出) (委員長報告)

第十五 棉花耕作助成ニ關スル建議案(佐藤庄太郎君外二名提出) (委員長報告)

第十六 銑鐵輸入關稅免除其ノ他ニ關スル建議案(蔭山貞吉君外五名提出) (委員長報告)

第十七 石炭鐵道運賃低減ニ關スル建議案(鈴木辰三郎君外二名提出) (委員長報告)

第十八 常磐炭鐵道運賃低減ニ關スル建議案(中井川浩君外一名提出) (委員長報告)

第十九 阪神間ニ大防波堤構築ニ關スル建議案(蔭山貞吉君外六名提出) (委員長報告)

第二十 阪神間ニ大防波堤構築ニ關スル建議案(前田房之助君外七名提出) (委員長報告)

第二十一 御影芦屋川間ニ防潮護岸堤構築ニ關スル建議案(蔭山貞吉君提出) (委員長報告)

第二十二 芦屋川御影間防潮護岸堤構築ニ關スル建議案(前田房之助君外三名提出) (委員長報告)

第二十三 地方稅制限ニ關スル法律中改正ニ關スル建議案(高田耘平君外五名提出) (委員長報告)

第二十四 地方稅制限ニ關スル法律中改正ニ關スル建議案(近藤壽市郎君外七名提出) (委員長報告)

第二十五 林業振興ニ關スル建議案(高田耘平君外五名提出) (委員長報告)

第二十六 林業振興ニ關スル建議案(近藤壽市郎君外六名提出) (委員長報告)

第二十七 森林火災保險國營ニ關スル建議案(高田耘平君外五名提出) (委員長報告)

第二十八 森林火災保險國營ニ關スル建議案(近藤壽市郎君外六名提出) (委員長報告)

○議長(濱田國松君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

(書記官朗讀)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
(第一號)昭和九年度歳入歳出總豫算追加案
(特第一號)昭和九年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
(以上二月二十三日提出)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
舊獨逸膠州租借地還付ニ關スル條約實施ニ伴フ損失ノ補償ニ關スル法律案
提出者 久山 知之君 大野 伴陸君

立川 平君 農業用礦油輸入稅免除ニ關スル建議案
提出者 北海道馬産振興ニ關スル建議案
提出者 手代木隆吉君 山本 厚三君

坂東幸太郎君 小池 仁郎君
大島 寅吉君 各戰役殊勲者優遇即行ニ關スル建議案
提出者 眞鍋 儀十君 松永 東君

高橋 義次君 文官任用令改正ニ關スル建議案
提出者 田村 實君 小林 絹治君

助川啓四郎君

大都市交通新制審議會設置ニ關スル建議案

提出者

世耕 弘一君 三上 英雄君

沼田嘉一郎君 深澤豐太郎君

防火建築振興ニ關スル建議案

提出者

蔭山 貞吉君

下關港ニ開港港則實施ニ關スル建議案

提出者

保良淺之助君

阿武隈川下流改修ニ關スル建議案

提出者

佐々木家壽治君

北洋材ノ需給調節ニ關スル建議案

提出者

瀨川 嘉助君 上田 孝吉君

深澤豐太郎君 玉置吉之丞君

利根川河口改修ニ關スル建議案

提出者

國枝拾次郎君

今井 健彦君 佐藤洋之助君

提出者

官幣大社廣田神社ヲ神宮ニ昇格ニ關スル建議案

提出者

蔭山 貞吉君

稻毛本千葉間鐵道敷設ニ關スル建議案

提出者

多田 滿長君

米穀政策並砂糖關稅及同附加稅ニ關スル質問主意書

提出者

伊禮 肇君

一昨二十一日特別委員理事補選結果

左ノ如シ

政府貸付金處理ニ關スル法律案(政府提出)委員

理事 深澤豐太郎君(理事星廉平君本日理事辭任ニ付其ノ補闕)

理事 小谷 節夫君(理事依光好秋君本日委員辭任ニ付其ノ補闕)

一昨二十一日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

營業收益稅法中改正法律案(中谷貞賴君外二名提出)委員

木暮武太夫君 大崎 清作君

鈴木辰三郎君 松實喜代太君

有馬 淺雄君 小林 錦君

鈴木吉之助君 中谷 貞賴君

保良淺之助君 吉田 綱明君

竹下 文隆君 吉川吉郎兵衛君

斯波 貞吉君 村松 久義君

中村不二男君 川淵 洽馬君

中村 繼男君 飯村 五郎君

一昨二十一日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

政府貸付金處理ニ關スル法律案(政府提出)委員

辭任依光 好秋君 補闕河野 一郎君

一昨二十一日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

營業收益稅法中改正法律案(中谷貞賴君外二名提出)委員

委員長 木暮武太夫君

理事 小林 錦君 竹下 文隆君

村松 久義君

一昨二十一日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

營業收益稅法中改正法律案(中谷貞賴君外二名提出)委員

辭任松實喜代太君 補闕田村 實君

○議長(濱田國松君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リヲ致シマス、大島寅吉君病氣ニ付二月二十三日ヨリ三月四日マデ請假ノ申出ガアリマス、之ヲ許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(濱田國松君) 御異議ナシト認メマス、仍テ許可スルニ決シマシタ、尙ホ御諮リヲ致スコトガアリマス、決算委員長ヨリ、本日本會議中決算委員會ヲ開キタシトノ申出ガアリマス、尙ホ今後本會議中ト雖モ、同委員會及分科會ヲ開キタシトノコトデアリマス、又政府貸付金處理ニ關スル法律案、借地借家調停法中改正法律案外六件、衛生組合法案外四件、是等ノ各委員長ヨリ、本日本會議中委員會ヲ開キタシトノ申出ガアリマス、何レモ之ヲ許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(濱田國松君) 御異議ナシト認メマス、仍テ許可致シマス——日程第一、倉庫業法案ノ第一讀會ヲ開キマス——商工大臣町田忠治君

第一 倉庫業法案(政府提出) 第一讀會 倉庫業法

第一條 倉庫營業者ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ預證券及質入證券又ハ倉荷證券ヲ發行スルコトヲ得ズ但シ勅令ヲ以テ指定シタル倉庫營業者ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條 前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ事業計畫、營業規則及保管料率表ヲ具シ主務大臣ニ之ヲ申請スベシ

第三條 第一條ノ許可ヲ受ケタル者事業計畫、營業規則又ハ保管料率表ヲ變更セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケベシ

第四條 主務大臣必要アリト認ムルトキハ第一條ノ許可又ハ前條ノ認可ヲ爲スニ當リ之ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第五條 第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ寄託ノ引受ヲ拒ムコトヲ得ズ

第六條 第一條ノ許可ヲ受ケタル者預證券及質入證券又ハ倉荷證券ヲ發行スル場合ニ於テハ寄託者ノ爲ニ受寄物ヲ火災保險ニ付スベシ但シ寄託者ガ反對ノ意思ヲ表示シタル場合又ハ命令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ業務報告書ヲ作成シテ之ヲ主務大臣ニ提出スベシ

第八條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ第一條ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ業務ニ關スル報告ヲ命ジ又ハ當該官吏ヲシテ第一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ業務及設備ノ狀況ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ臨檢ヲ爲ス場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帯スベシ

第九條 主務大臣ハ第一條ノ許可ヲ受ケタル者ノ業務又ハ設備ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ事業計畫、營業規則又ハ保管料率表ノ變更ヲ命ジ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十條 主務大臣ハ第一條ノ許可ヲ受ケ

タル者本法若ハ本法ニ基キテ發スル命

令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シ又

ハ第四條ノ規定ニ依リ許可若ハ認可ニ

附シタル制限若ハ條件ニ違反シタルト

キハ預證券及質入證券若ハ倉庫證券ノ

發行ノ停止ヲ命ジ又ハ第一條ノ許可ノ

取消ヲ爲スコトヲ得主務大臣第一條ノ

許可ヲ受ケタル者ノ行爲ガ著シク寄託

者又ハ預證券質入證券若ハ倉庫證券ノ

所持人ノ利益ヲ害シ又ハ害スルノ虞アリ

ト認ムルトキ亦同ジ

第十一條 第一條ノ許可ヲ受ケタル者死

亡シタル場合ニ於テ其ノ倉庫營業ヲ相

續ニ因リテ承繼シタル者ハ之ヲ第一條

ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

第十二條 本法中主務大臣ノ職權ハ命令

ヲ以テ之ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ

得

第十三條 第一條ノ規定ニ違反シ主務大

臣ノ許可ヲ受ケズシテ又ハ第十條ノ規

定ニ依リ發行停止ノ命令ニ違反シテ預

證券及質入證券又ハ倉庫證券ヲ發行シ

タル者ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條 第一條ノ許可ヲ受ケタル者左

ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五百圓以

下ノ罰金ニ處ス

一 第三條ノ規定ニ違反シ主務大臣ノ

認可ヲ受ケズシテ事業計畫、營業規

則又ハ保管料率表ヲ變更シタルトキ

二 第七條若ハ第八條ノ規定ニ依ル報

告ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ報告ヲ爲シ又

ハ第八條ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、

妨ガ若ハ忌避シタルトキ

三 第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ

タルトキ

第十五條 倉庫營業者ハ其ノ代理人、戸

主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ

其ノ業務ニ關シ本法若ハ本法ニ基キテ

發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ

違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザ

ルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルコトヲ

得ズ

第十六條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル

命令ニ依リ倉庫營業者ニ適用スベキ罰

則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取

締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役

員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキ

ハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營

業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル

未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際現ニ倉庫營業ヲ行フ者又

ハ其ノ承繼人ハ本法施行ノ日ヨリ二年ヲ

限リ第一條ノ規定ニ拘ラズ預證券及質入

證券又ハ倉庫證券ヲ發行スルコトヲ得

前項ニ掲グル者前項ノ期間内ニ第一條ノ

許可ヲ申請シタル場合ニ於テ其ノ申請ニ

對スル許可又ハ不許可ノ處分ノ日迄亦前

項ニ同ジ

倉庫營業者前二項ノ規定ニ依リ預證券及

質入證券又ハ倉庫證券ヲ發行シタルトキ

ハ其ノ發行ノ日ヨリ前二項ノ期間内第七

條乃至第十條、第十三條、第十四條第二

號及第三號、第十五條並ニ第十六條ノ規

定ノ適用ニ付之ヲ第一條ノ許可ヲ受ケタ

ル者ト看做ス

(國務大臣町田忠治君登壇)

○國務大臣(町田忠治君) 倉庫業法案ヲ提

出致シマスル理由ノ大體ヲ申述べマス、倉

庫營業ハ主トシテ貨物ノ大量保管ヲ職分ト

致スモノデアリマシテ、保險業、銀行業等

ト同ジク、社會公衆ニ對シテ重大ナル利害

關係ヲ有スルモノデアリマス、殊ニ倉庫證

券ヲ發行スル場合ニ於キマシテ、商品ノ賣

買並ニ商品擔保金融上、重大ナル機能ヲ營

ムモノデアリマシテ、其經營ノ良否、設備

ノ完否等ハ、國民經濟ノ發展ニ重大ナル關

係ヲ有スルコトハ、私ヨリ申上グルマデモ

アリマセヌ、然ルニ從來我國ニ於キマシテ

ハ、倉庫營業ヲ監督取締スル法規ハ完備致

シテ居リマセヌガ爲ニ、保管設備又ハ經營

方法ニ付キマシテ、遺憾ノ點ガ少クナイノ

デアリマシテ、其結果倉庫營業並ニ倉庫證

券ノ信用ヲ薄弱ナラシメマシテ、商品ノ賣

買、商品擔保金融ノ圓滑ヲ期シテ、倉庫營

業ノ機能ヲ完全ニ發揮セシムルガ上ニ於テ

ハ、相當大キナ支障ガアツタノデアリマス、

仍テ茲ニ倉庫營業ノ監督取締ノ法規ヲ制定

致シ、資力信用ノ薄弱、又ハ設備ノ不完全

ナル倉庫營業者ノ倉庫證券ヲ發行ヲ取締ル

ト共ニ、其事業經營ニ付キマシテ適當ナル

監督ヲ行ヒ、由テ以テ倉庫營業ノ健全ナル

發達ヲ助長スルノ趣意ヲ以テ、此法案ヲ提

出致シタ次第デアリマス、何卒慎重御審議

ノ上御協賛アラシコトヲ御願致シマス(拍

手)

○議長(濱田國松君) 本案ノ審査ヲ付託ス

ベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リヲ致シマス

○青木雷三郎君 本案ハ議長指名九名ノ委

員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(濱田國松君) 青木君ノ動議ニ御異

議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(濱田國松君) 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第二

ハ、關係大臣ガ貴族院ノ豫算委員會ニ出席

中デアリマシテ、直チニ本院ニ出席致シ兼

ヌル趣デアリマス、依テ此際之ヲ後廻シニ

致シマス

○青木雷三郎君 議事日程變更ノ緊急動議

ヲ提出致シマス、即チ此際鳩山一郎君外九

名提出、第十二回國際オリムピック大會經

費補助ニ關スル建議案ヲ議題トナシ、委員

長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコト

ヲ望ミマス

○議長(濱田國松君) 青木君ノ動議ニ御異

議アリマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(濱田國松君) 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、第十二

回國際オリムピック大會經費補助ニ關スル

建議案ヲ議題ト致シマス、建議委員長ノ報

告ヲ求メマス、——田中祐四郎君

提出)

(委員長報告)

第十二回國際オリムピック大會經費補

助ニ關スル建議案

第十二回國際オリムピック大會經費

補助ニ關スル建議

政府ハ皇紀二千六百年東京市ニ於テ開催

セラルヘキ第十二回國際オリムピック大

會ニ對シ相當ノ經費ヲ補助セラレムコト

ヲ望ム

右建議ス

報告書

第十二回國際オリムピック大會經費補助ニ關スル建議案(鳩山一郎君外九名提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十年二月二十三日

建議委員長 田中祐四郎

衆議院議長濱田國松殿

○田中祐四郎君 簡單デアリマスカラ此席ヨリ……

〔登壇「ト呼フ者アリ」〕

○議長(濱田國松君) 登壇ヲ求メマス

(田中祐四郎君登壇)

○田中祐四郎君 只今緊急上程ヲセラレマシタ此建議案ニ付キマシテ、委員會ノ經過竝ニ結果ヲ報告致シマス、第十二回國際オリムピック大會經費補助ニ關スル建議案ニ付キマシテハ、午前ノ委員會ニ於キマシテ、提案者島田俊雄君ノ説明ガアリマシタ、尙ホ之ニ對シ政府委員ヨリモ、其趣旨ニ贊意ヲ表スル旨ノ發言ガアリマシタ、委員ハ慎重ニ質疑應答ヲ重ネマシテ、審議ヲ遂ゲタル結果、本案ハ體育ノ振興及國際文化ノ伸展上、極メテ重要ナルモノト認メマシテ、滿場一致ヲ以テ之ヲ可決致シマシタ、此段御報告申上ゲマス(拍手)

○議長(濱田國松君) 是ヨリ討論ニ入リマス、通告順ニ依ッテ其發言ヲ許シマス――

牧山耕藏君

(牧山耕藏君登壇)

○牧山耕藏君 第十二回國際オリムピック大會ニ關スル建議案ハ、我が衆議院ニ於ケル各派聯合一致ノ提案デアリマシテ、即チ此問題ニ對スル國民ノ總意ヲ表明致シマデアリマス、私ハ立憲民政黨ヲ代表致シマ

シテ、簡單ニ贊成ノ意見ヲ表明シタイト思フノデアリマス

古代「オリムピア・ゲーム」ガ國際的大祭典トシテ、崇高ナル精神ヲ以テ創設サレマシタルコトハ、當時ノ歴史的事實ガ、嚴ニ之ヲ證明致シテ居ルノデアリマス、歴史ノ示ス所ニ依リマスレバ、此祭典開催中ハ、參加國間ニ於テ戰端ガ開カレテ居リマシテモ、神ノ休戰トシテ暫ク干戈ヲ收メテ、此「ゲーム」ニ從事シタト云フ位デアリマシテ、如何ニ崇高ナル精神ヲ以テ生レ出タカト云フコトガ明デアアルノデアリマス、十九世紀ノ末葉ニ至リマシテ、國際オリムピック大會トシテ復活ヲ致シタノデアリマスルガ、此大會モヤハリ創設當初ノ大精神ヲ以テ更生サレタモノデアリマシテ、即チ世界人類ノ健康増進、國際文化ノ促進、竝ニ世界平和ノ建設ニ貢獻スル目的ヲ以テ再生致シタノデアリマシテ、過去十回ノ實例ニ徴シマシテモ、此大會ノ總裁ニ當ル人ハ、開催國ノ元首デアアルト云フ事實ニ觀マシテモ、如何ニ是ガ國際的ノ盛儀デアアルカト云フコトガ分ルノデアリマス、國際オリムピック大會ガ十九世紀ノ末葉ニ復活セラレマシテヨリ、歲ヲ閱スルコト四十年、回ヲ重ヌルコト十回ニ及ンデ居ルノデアリマスルガ、其開催地ハ悉ク歐米ノ地ニ限ラレテ居リマシテ、我が亞細亞ノ地ニ一回ノ開催モ見ルコトガナカタノハ、亞細亞民族ノ爲ニ洵ニ遺憾ニ堪ヘザル所デアリマス、明年開カレマスル所ノ第十一回大會ハ、既ニ獨逸ニ開カレルコトニ相成ッテ居リマシテ、是ハ確定不動デアリマスルガ、西歷千九百四十年ニ開催サレマスル第十二回ノ國際オリムピック大會ハ、伊太利ノ首相「ムッソリーニ」氏ノ好意ト、

關係者ノ斡旋盡力ニ依リマシテ、ドウヤラ我が皇國ノ首都ニ於テ開催サルベキ機運ニ向ヒツ、アルコトハ、我が帝國ノ爲ニ慶祝スベキノミナラズ、亞細亞民族ノ爲ニ洵ニ満足ニ堪ヘザル所デアリマス(拍手)此大會ハ唯單ニ運動競技ヲ主トスルバカリデナク、文學、美術、音樂等ノ展覽會行事ヲ併セ行ハレルモノデアリマシテ、世界文化ノ向上ニ貢獻スルコトモ亦大ナルモノデアリマス、千九百四十年ハ、我が皇紀二千六百年ニ相當致スノデアリマシテ、神武天皇ノ御偉業ヲ景仰シ、三千年ノ我國ノ文化ヲ、廣ク中外ニ宣揚スベキ絶好ノ機會デアアルノデアリマス、此機會ニ於テ、國際オリムピック大會ガ、我が皇土ニ開催セラレマスルコトハ、洵ニ我國ニ取ッテモ慶祝スベキコトデアリマシテ、五十有餘箇國ヨリ數千名ノ「アスレイト」又之ヲ團ム所ノ應援團、觀覽者等幾方ヲ帝都ニ迎ヘマシテ、技ヲ練リ、力ヲ競ヒ、オリムピック大會本來ノ大精神ヲ發揚致シマスルコトハ、極メテ意義深イモノデアアルト存ズルノデアリマス

尙ホ此機會ニ、我が國人ガ數十箇國ノ國民ニ接シマシテ、我國ノ眞ノ姿ヲ認識セシメルト共ニ、又外國人ヲシテ、我國ガ如何ナル國柄デアアルカト云フコトニ付テ十分ニ認メシメ、同時ニ我が國民ヲシテ世界ニ於ケル所ノ位置ヲ自覺シ、其誇ヲ高メルコトニ付テモ、多大ノ效果ガアルト信ズルモノデアリマス、斯ル意味ヨリ致シマシテ、第十二回國際オリムピック大會ヲ我が皇都ニ開催致シマスルコトハ、是ハ世界ニ於ケル我國ノ位置ヨリ見マシテモ、亦國際平和親善ノ上ヨリ考ヘマシテモ、洵ニ望マシキコトデアアルノデアリマス、併ナガラ此目的ヲ

達シマスルニハ、幾多ノ困難ガ伴フト思フノデアリマス、參加國ノ多數ト云フモノハ、遠隔ノ地ニアリ、選手ノ派遣ノ費用等モ相當嵩ムデアリマセウ、觀覽者、應援團等ノ渡來ニ付キマシテモ、亦負擔ノ過重ヲ感ズルト信ズルノデアリマス、仍テ此問題ヲ實現致シマスル爲ニハ、我が國民ハ眞ニ舉國一致的ノ努力ヲ必要トスルノデアリマス、政府ニ於キマシテハ、此目的ノ完成ノ爲ニ積極的ニ乗出スト共ニ、十分ナル國費ノ補助ヲ必要ト存ズルノデアリマス、ドウカ政府ニ於カレマシテハ、國民ノ總意ト思ハレル此重要建議案ノ趣旨ヲ十分ニ看取サレマシテ、建議ノ目的達成ニ向ッテ甚大ナル努力ヲ拂ハレンコトヲ希望スルノデアリマス、尙ホ本案ノ審議中ニ於テ、國務大臣ヨリ本案ニ對スル明確ナル意思ノ表明ヲ希望致スモノデアリマス(拍手)

○議長(濱田國松君) 次ノ通告者岸衛君

(岸衛君登壇)

○岸衛君 第十二回國際オリムピック大會ヲ我が日本ニ於テ行ハント致シマスノハ、萬國博覽會開催ト共ニ、光輝アル紀元二千六百年ヲ記念シ、更ニ進ンデ我が大和民族ガ、有ユル機會ニ有ユル方面ニ躍進ニ躍進ヲ重ネントスル、其前途ヲ祝福スル意味ニ於キマシテモ、最モ相應ハシク、且ツ適切ナル事業ナリト確信スル次第デアリマス(拍手)而シテ斯ル健全ナル國際的事業ニ對シ、政府ガ相當ノ援助ヲ爲シマスコトハ、精神作興ニ寄與スルコト甚大ナル「スポーツ」ノ爲ニモ、將又絢爛ヲ極メテ居リマス我が文化ヲ海外ニ宣揚シ、且ツ我が卓越セル國民性ノ眞價ヲ汎ク國際的ニ周知セシメ、觀光政策上ニ於キマシテモ、極メテ妥當ナリト

信ジマシテ、茲ニ我ガ國民同盟ヲ代表シマシテ、雙手ヲ舉ゲテ本案ニ賛成ノ意ヲ表スル次第デアリマス（拍手）

○議長（濱田國松君） 安藤正純君

（安藤正純君登壇）

○安藤正純君 第十二回國際オリムピック大會ヲ我ガ東京ニ招致シテ、ソレガ爲ニ之ニ要スル經費ノ補助ヲ政府ニ望ム建議案デゴザイマス、吾々ハ此建議案ニ對シマシテ、滿腔ノ誠意ヲ以テ賛成ヲ表スル者デゴザイマス、何故ニ第十二回國際オリムピック大會ヲ、ソレ程マデニ我ガ國民ガ希望シテ居ルカト申シマスレバ、此オリムピック大會ハ、抑、古代希臘ニ濫觴ヲ發シマシテ、約十一世紀ノ間續イテ居リマシテ廢止ヲセラレマシタガ、佛蘭西ノ「クレール」男爵ニ依テ復興セラレマシテカラ、今年ニ至ルマデ約四十年間繼續ヲ致シテ居リマスガ、此運動ハ昔ノ希臘デ行ク時ヨリモ、更ニ其規模ヲ擴大シ、其精神ヲ擴充致シマシテ、體育ノ理想デアアル所ノ肉體の完成ト、竝ニ純眞勇壯ナル精神ノ伸暢ノ復活ヲ致シマシテ、國際競技ノ舉行ニ依ツテ、國際ノ平和ヲ増進セントスルマデニ擴大ヲサレタノデアリマス、復興後ニ於キマシテハ、既ニ第十回ノ大會ヲ開キ、來年ハ伯林ニ於テ第十一回ノ大會ヲ開クコトニナツテ居リマス、我國ガ此競技ニ參加ヲ致シマシタノハ千九百十二年、即チ我ガ明治四十五年ノ「ストックホルム」ノ第五回大會ノ時カラデゴザイマス、而モ此時ニハ、我國ハ僅ニ二名ノ選手ヲ送ツタニ過ギマセヌ、其結果ハ慘敗ニ終ツタノデアリマス、之ヲ一昨年開キマシタ「ロサンゼルス」ノ第十回ノ大會ニ、我國カラハ男女總計百三十一名ノ選手ヲ送りマシ

テ、其成績ハ各國ノ強豪ヲ抜キマシテ、一躍七ツノ選手權ヲ得マシテ、其外ニ二等ガ七ツ、三等ガ四ツノ入賞ヲ致シマシタ、總計十八本ノ我ガ大小ノ國旗ヲ「ステージ」ノ橋上高ク掲揚スルコトガ出來マシタノニ較ベマス、實ニ今昔ノ感ニ堪ヘナイノデアリマス（拍手）此時ノ光景ヲ右大會ノ參加者カラ直接ニ聽キマス、日本ノ選手ノ涙グマシイ活躍ニ依ツテ、如何ナル種目ニ於キマシテモ、優勝者ノ地位ヲ贏チ得マシテ、其度毎ニ日本ノ國旗ガ橋上高ク掲揚セラレ、君ガ代ノ國歌ハ吹奏セラレ、是ト共ニ各國十萬ノ觀衆ガ總起立脱帽ヲシテ、我ガ國旗ノ前ニ最敬禮ヲ爲シマシタ場合合ハ、實ニ感激其モノデアツテ、其處ニ居タ、我ガ國民ハ、皆本當ニ感極ツテ泣イタサウデアリマス、併シ此感激ハ、決シテ日本國民バカリノ感激デハナカッタ、十萬ノ各國民ハ等シク、近々二十年間ニ築キ上ゲタ所ノ新興日本ノ儼然タル地位ニ今更驚嘆ノ眼ヲ瞪リ、至大ノ感激ト、心カラナル敬意ヲ、我ガ民族ニ與ヘタルデゴザイマス（拍手）殊ニ此大會ニ於テ注意ヲ致サナケレバナラナイコトハ、我國ノ各選手ガ、勝利ノ光榮ニ向ツテ、實ニ堅實ナル奮闘努力ヲ繼續致シマシタト共ニ、公明正大ノ運動ノ本精神ヲ忘レズ、皇室ノ聖旨ヲ奉戴シテ「スポーツ」ヲ通ジテ日本國民ノ眞價ヲ世界ニ發揮スルコトヲ忘レナカッタ此態度デゴザイマス（拍手）此國際オリムピック第十一回大會ハ、先程申上ゲマシタ通りニ、明年伯林デヤルコトニ決ツテ居リマス、問題ハ其次ノ四年目ニ開ク所ノ第十二回ノ大會、即チ昭和十五年ニ開カレルノデアリマスガ、昭和十五年ハ恰モ我國ノ紀元二千六百年デゴザイマス、故

ニ今マデ歐米ノミデ開イテ、未ダ曾テ開イタコトノナイ東洋、殊ニ我ガ日本ノ東京ニ之ヲ招致シテ、一ツハ神武天皇曠古ノ御偉業ヲ景仰シテ、帝國三千年ノ文化ヲ宣揚シ、又一ツニハ、我國ノ實情ヲ世界ニ紹介シテ、國際親善ニ貢獻シ、國民外交ノ實ヲ舉グルコトハ、此時ヲ措イテ絶好ノ機會ハナイト信ズル次第デアリマス（拍手）然ルニ此第十二回ノ大會ハ、是非羅馬デ開キタイト、伊太利ハ非常ニ熱心デゴザイマシテ、伊太利デハ先年來非常ナル誘致策ト、又最大ナル準備ヲ致シテ居ルノデアリマス、此時恰モ大日本體育協會ノ委託ヲ受ケテ居リマスル副島伯村大徳トガ、昨年來協力シテ色々盡力シ、色々折衝中デアリマシタガ、丁度過グル九日「ムッソリーニ」首相ト會見ヲシタ其結果「ムッソリーニ」首相ハ、日本ガ建國二千六百年ノ好機ニ際シ、今マデ開イタコトノナイ東洋デ、オリムピック大會ヲ招致シタイト言フノナラバト云フ、武士道精神ニ基イテ、第十二回大會ヲ羅馬デ開クコトヲ見合ハセル旨ノ回答ヲ致サレタサウデアリマス（拍手）私共國民ハ此吉報ヲ得テ、洵ニ欣快ニ堪ヘナイト共ニ「ムッソリーニ」首相ノ偉大ナル精神ニ感激措ク能ハザル者デアリマス（拍手）唯實際ニ決定サレマスノハ、明日諾威ノ「オスロー」デ開カレマスルオリムピック大會ノ委員會ノ其時デアリマス、既ニ英吉利、獨逸、埃太利ハ、日本ノ主張ニ賛意ヲ表シテ居リマスカラ、茲ニ伊太利ガ更ニ賛成ヲシテ吳レマスルト、必ズ日本ノ希望ガ明後日貫徹スルト云フコトハ、愈、確實ニナルト存ズル次第デゴザイマス、此時ニ當ツテ吾々ハ、此遠大ナル計畫ニ政府ガ滿幅ノ賛意ヲ表明セラレ、我國運

動ノ世界的成功ト、國際親善ノ貢獻ト、此二大目的ノ爲ニ相當ノ經費ヲ補助セラレンコトヲ熱望スル者デアリマス、本日此衆議院一致ノ建議案ノ可決ガ、直接ニハ「オスロー」ニ傳ヘラレ、又一般的ニハ世界ノ各地ニ響キマス時ニ、必ズ最善ノ結果ヲ生出スコト、確信致シマス、茲ニ政府ノ滿腔ノ御同意ヲ得タク此建議案ニ賛成シ、熱心ナル希望ヲ一言述べル次第デアリマス（拍手）

（政府委員添田敬一郎君登壇）

○政府委員（添田敬一郎君） 文部大臣ハ只今貴族院ノ豫算總會ニ出テ居リマスノデ、私ヨリ代ツテ御答辯ヲ申上ゲマス、オリムピック大會ヲ我ガ日本ニ開催シマスコトガ、オリムピック大會ノ意義カラ申シマシテモ、我國ノ體育振興ノ上カラ申シマシテモ、更ニ國際親善ノ上カラ申シマシテモ、將又日本ノ文化ヲ海外ニ宣揚スルト云フ上カラ申シマシテモ、洵ニ意義ノ深いコトデアルト思フノデアリマス、第十二回大會ハ、只今モ贊成演説ノ中ニアリマシタ通り、來ル二十五日及六日「オスロー」ニ於テ開カレマスル委員會ニ於テ、決セラレルコトニナツテ居リマス、幸ニシテ若シ第十二回ノ大會ガ、我ガ日本ノ東京ニ開催スルコトニ確定ヲ致シマスルナラバ、丁度其年ハ、我ガ紀元二千六百年ニ相當スルノデアリマシテ、官民協力一致シテ事ノ成功ニ努メナケレバナラスコト、存ズルノデアリマス（拍手）隨テ政府ニ於キマシテモ、事情ノ許ス限り、經濟上ニモ精神上ニモ、出來ルダケノ援助ヲ與ヘタイト存ジテ居ルノデアリマス（拍手）

○議長（濱田國松君） 採決致シマス、本案ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔總員起立〕

○議長(濱田國松君) 起立總員(拍手)仍テ

本案ハ可決サレマシタ、日程第三及第四ハ、同種議案ナルニ依リ、一括議題トナスニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(濱田國松君) 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ日程第三、傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案、日程第四、傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案、以上兩案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス、順次提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス、日程第三、提出者江藤源九郎君

第三 傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案(江藤源九郎君提出) 第一讀會

第四 傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案(上原平太郎君外一名提出)

傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案 第一條 本法ニ於テ鐵道トハ國有鐵道(連絡鐵路ヲ含ム)、一般交通ノ用ニ供スル地方鐵道及軌道並南滿洲鐵道株式會社所屬ノ鐵道ヲ謂フ

第二條 本法ニ於テ船舶トハ一般交通ノ用ニ供スル爲航路ヲ定メ定期ニ航行シテ旅客ヲ運送スル船舶ニシテ命令ヲ以テ指定スルモノヲ謂フ

第三條 傷痍軍人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ增加恩給及傷病年金受給者ニ在リテハ無賃、一時賜金受給者ニ在リテハ旅

客運賃ノ五割引ニテ鐵道ニ乘車スルコトヲ得

第四條 傷痍軍人ニシテ傷痍、疾病又ハ老齡等ノ爲他人ノ扶助ヲ要スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ附添人一名ヲ限リ本人相當ノ無賃又ハ旅客運賃割引ニテ之ヲ同伴スルコトヲ得

第五條 戰公傷病死者ノ遺族ハ命令ノ定ムル所ニ依リ靖國神社大祭若ハ招魂祭ニ參拜ノ爲又ハ遺骨ノ出迎受領ノ爲旅行スルトキハ其ノ往復ニ限リ無賃又ハ旅客運賃ノ五割引ニテ鐵道ニ乘車スルコトヲ得

第六條 第三條及第五條ニ掲グル者船舶ニ依リ旅行スル場合ニ於テ本法ノ規定ニ依リ無賃ニテ乘車シ得ル旅行ニ相當スルトキハ旅客運賃ノ五割引、五割引運賃ニテ乘車シ得ル旅行ニ相當スルトキハ旅客運賃ノ二割引ニテ乘船スルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案 第一條 本法ニ於テ鐵道トハ國有鐵道(連絡鐵路ヲ含ム)、一般交通ノ用ニ供スル地方鐵道及軌道並南滿洲鐵道株式會社所屬ノ鐵道ヲ謂フ

第二條 本法ニ於テ船舶トハ一般交通ノ用ニ供スル爲航路ヲ定メ定期ニ航行シテ旅客ヲ運送スル船舶ニシテ命令ヲ以テ指定スルモノヲ謂フ

第三條 傷痍軍人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ增加恩給及傷病年金受給者ニ在リテハ無賃、一時賜金受給者ニ在リテハ旅

客運賃ノ五割引ニテ鐵道ニ乘車スルコトヲ得

第四條 傷痍軍人ニシテ傷痍、疾病又ハ老齡等ノ爲他人ノ扶助ヲ要スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ附添人一名ヲ限リ本人相當ノ無賃又ハ旅客運賃割引ニテ之ヲ同伴スルコトヲ得

第五條 戰公傷病死者ノ遺族ハ命令ノ定ムル所ニ依リ靖國神社大祭若ハ招魂祭ニ參拜ノ爲又ハ遺骨ノ出迎受領ノ爲旅行スルトキハ其ノ往復ニ限リ無賃又ハ旅客運賃ノ五割引ニテ鐵道ニ乘車スルコトヲ得

第六條 第三條、第四條及第五條ニ掲グル者船舶ニ依リ旅行スル場合ニ於テ本法ノ規定ニ依リ無賃ニテ乘車シ得ル旅行ニ相當スルトキハ旅客運賃ノ五割引、五割引運賃ニテ乘車シ得ル旅行ニ相當スルトキハ旅客運賃ノ二割引ニテ乘船スルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

○江藤源九郎君 只今上程ニナリマシタ、傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案ヲ提出致シマシタ理由ノ一端ヲ申上ゲマシテ、御賛成ヲ御願致シタイト思フノデアリマス、本法律案ハ既ニ數回我が衆議院ヲ通過致シテ居ルノデアリマス、不幸ニシテ鐵道省當局ガ賛成致シマセヌガ故ニ、貴族院ヲ通過スルニ至リマセヌデ、洵ニ遺憾千萬ニ存ジテ居ルノデアリマス、而シテ今日迄ノ委員會等ニ於ケル鐵道省當局ノ主ナル反對ノ理由

ハ、左ノ三點ニアルヤウデアリマス、其第一點ハ、傷痍軍人及遺族ヲ優遇スル趣旨ニ付テハ大ニ賛成デアアルガ、是ハ國家全體ノ負擔ニ於テ優遇スベキモノデアッテ、特別會計デアアル鐵道省ノミノ負擔ト爲スコトハ不合理デアアル、殊ニ鐵道省ハ、其當時ハ赤字デ苦シメ居ツクノデアアルカラ、斯ウ言フノデアリマス、成程傷痍軍人ヤ遺族ハ、國家ノ犧牲者デアリマス、嚴格ナル意味ニ於キマシテハ、鐵道省ノ負擔トセズ、一般會計ノ負擔トスルコトガ純理デアリマセウガ、併シ又一面鐵道省ト雖モ、國家ノ機關ニ外ナラナイノデアリマス、鐵道省ガ負擔致シマシテモ、必シモ不合理デハナイト思フノデアリマス、此意味ニ於テ議員ノ無賃乘車モ鐵道省ガ負擔致シテ居ルノデアリマス、唯問題ハ、其負擔ノ程度ガ如何デアアルカト云フコト、思フノデアリマス、傷痍軍人ヤ遺族ヲ無賃又ハ五割引デ乘車船致サセマシテモ、鐵道省ノ歲入ニ影響スル程度ハ極ク微細デアリマシテ、殆ド問題ニナラナイト思フノデアリマス、殊ニ今日ハ鐵道省ハ赤字デアリマス、此點ニ付テノ御心配ハモウ無イト私ハ信ジテ居リマス、ノミナラズ又一面見方ニ依リマス、減收ドコロカ、寧ロ此法案ヲ實行致シマスルコトニ依リマシテ、增收ニナルトモ考ヘラレルノデアリマス、何トナレバ、傷痍軍人ヤ遺族ハ、無賃又ハ五割引デアリマス、多クノ場合、是ト同行致シマスル家族ハ全額ヲ拂フノデアリマス、寧ロ家族ノ收入ニ依ッテ、本人ノ收入減ヲ補ッテ餘リアルト云フコトモ言ハレルト思フノデアリマス、殊ニ五割引ノ場合ニ於テ、一層其感ヲ深クスルノデアリマス、第二點

ハ、現在法律ヲ以テ優遇乗車ヲ規定致シテ居ルモノハ議員ノミデアリマス、然ルニ今又傷痍軍人及遺族ヲ、法律ヲ以テ優遇乗車セシムルコトニ致シマス、是ガ前例トナリマシテ、大衆ノ力ヲ以テ色々ノ者ガ優遇乗車ヲ強要スルコト、ナリマシテ、遂ニハ鐵道省ノ運輸計畫ヲ破壞スルニ至ル虞ガアルカラト言フノデアリマス、併ナガラ御承知ノ通りニ、議員ハ國家ニ對シテ特別ノ關係ヲ有シ、傷痍軍人及遺族ハ國家ニ對シテ特別ノ犧牲ヲ拂テ居ル者デアリマス、

トヲ希望シテ居ルコトハ勿論ト信ジマス、又從來選任省當局ニ於テハ、大體ニ於テ賛成シテ居ラレノデアリマス、ドウカ鐵道省當局ニ於テモ、本案ニ御賛成アラシト切望致ス次第デアリマス(拍手)

○議長(濱田國松君) 日程第四、提出者上原平太郎君

○上原平太郎君 簡單デアリマス、自席カラ發言ヲ御許シテ願ヒタイと思ヒマス

○議長(濱田國松君) 許可致シマス

○上原平太郎君 本案ハ只今江藤君カラ詳細ニ理由ヲ述ベラレマシタノデ、私ハ之ヲ省略致シマス、法律ヲ以テ規定ヲシテ置ク

ト云フコトハ、傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ニ對スル優遇ヲ、國家ノ意思ヲ以テ明ニ表示スルモノデアリマシテ、實質的ニハ現在是等ノ優遇ガ相當ニ行ハレテ居リマス、尙ホ私設鐵道會社等ニ於キマシテハ、動モスルト特別ノ憐憫デ「パス」ヲ出シキウナ顔ヲスル會社ガナキニシモアラズデアリマス、何卒皆様ノ御協賛ヲ得マシテ、多年國家ノ爲ニ至誠ヲ獻ゲテ盡シマシタル犧牲者ガ熱望致シテ居リマス、此優遇案ヲ可決セラレンコトヲ御願致ス次第デアリマス(拍手)

○議長(濱田國松君) 別ニ質疑ノ通告ハアリマセヌ

○青木雷三郎君 日程第三及第四ノ兩案ハ一括シテ、八田宗吉君外七名提出、家祿賞典祿給與未済ニ關スル法律案委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(濱田國松君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(濱田國松君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第五、私生子ノ名稱ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——内藤正剛君

第五 私生子ノ名稱ニ關スル法律案
(一松定吉君外六名提出) 第一讀會
私生子ノ名稱ニ關スル法律案
私生子ハ之ヲ母生子ト改稱ス
母生子ノ戸籍ニ關スル届出又ハ戸籍ノ記載ヲ爲スニ當リ母ト母生子トノ續柄ヲ表示スルニハ總テ母某長男若ハ母某二男(三男以下)又ハ母某長女若ハ母某二女(三女以下)ト記載スヘシ
前項ノ規定ハ庶子ニ付テモ之ヲ準用ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
他ノ法令中私生子トアルハ之ヲ母生子トス

母生子及庶子ノ戸籍ノ記載ニシテ私生子男、私生子女、庶子男及庶子女トアルハ本法第二項ノ記載例ニ依リ之ヲ訂正スヘシ但シ利害關係人ノ申請ニ因リ其ノ記載ヲ訂正スルコトヲ妨ケス
前項ノ訂正ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

〔内藤正剛君登壇〕

○内藤正剛君 只今上程セラレマシタ私生子ノ名稱廢止ニ關スル法律案デアリマス、是ハ既ニ五十九議會ト六十五議會ニ於キマシテ、本院デハ可決ニナッテ居ルノデアリマス、申ス迄モナク此文字ハ用語上ニ不當デアリマシテ、精神上ノ苦痛ト社會上ノ不利

益ヲ、生レタ子供ニ及ボス所ノ影響ハ少クナイノデアリマス、今日迄ニ現レタル統計ニ依リマシテモ、二百萬以上ノ私生子ガアリ、ソレニ對スル或ハ犯罪ノ上ニ於ケル統計、或ハ戸籍法違反ニ關シマスル所ノ犯罪、墮胎罪等色々ナコトガ副産物トシテ起ルノデアリマス、既ニ各位ニ於ケレマシテ、嘗テ御賛成ヲ得タノデアリマス、未ダ案トシテハ成立スルノ運ビニ至リマセヌ、仍テ是非共至急ニ是ガ解決ヲ致シタク重ネテ出シテ譯デアリマス、何卒御賛同ヲ御願致シタイと思ヒマス(拍手)

○議長(濱田國松君) 別ニ質疑ノ通告ハアリマセヌ

○青木雷三郎君 本案ハ藤田若水君外四名提出、借地借家調停法中改正法律案外六件委員ニ、併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(濱田國松君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(濱田國松君) 御異議ナキモノト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第六、建築士法案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——提出者手代木隆吉君

第六 建築士法案(手代木隆吉君外七名提出) 第一讀會
建築士法案
第一條 建築士ハ建築士ノ稱號ヲ用ヒテ建築ニ關スル設計、工事監督、相談、調査又ハ鑑定ヲ爲シ其ノ他ニ附隨スル事項ヲ取扱フコトヲ業トスルモノトス

○議長(濱田國松君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長(濱田國松君) 別ニ質疑ノ通告ハアリマセヌ

○青木雷三郎君 本案ハ藤田若水君外四名提出、借地借家調停法中改正法律案外六件委員ニ、併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(濱田國松君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長(濱田國松君) 御異議ナキモノト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第六、建築士法案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——提出者手代木隆吉君

第六 建築士法案(手代木隆吉君外七名提出) 第一讀會
建築士法案
第一條 建築士ハ建築士ノ稱號ヲ用ヒテ建築ニ關スル設計、工事監督、相談、調査又ハ鑑定ヲ爲シ其ノ他ニ附隨スル事項ヲ取扱フコトヲ業トスルモノトス

○議長(濱田國松君) 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○議長(濱田國松君) 御異議ナキモノト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第六、建築士法案ノ第一讀會ヲ開キマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——提出者手代木隆吉君

第二條 左ノ條件ヲ具フル者ハ建築士タル資格ヲ有ス

- 一 帝國臣民又ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ外國ノ國籍ヲ有スル者ニシテ私法上ノ能力者タルコト
- 二 建築士試験ニ合格シタルコト
- 三 建築士試験ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ前條第一項第二號ノ規定ニ拘ラス建築士タル資格ヲ有ス

- 一 建築學ヲ修メタル工學博士
- 二 帝國大學若ハ大學令ニ依ル大學ニ於テ建築學ヲ修メ之ヲ卒業シ一年以上上建築ニ關スル實務ニ従事セル者又ハ專門學校令ニ依ル專門學校ニ於テ建築學ヲ修メ之ヲ卒業シ一年以上上建築ニ關スル實務ニ従事セル者
- 三 主務大臣ニ於テ前號ニ掲クル學校ト同等以上ト認メタル學校ニ於テ建築學ヲ修メ之ヲ卒業シ一年以上上建築ニ關スル實務ニ従事セル者
- 四 前各號以外ノ者ニシテ建築士試験委員ノ銓衡ニ依リ前二號同等ノ資格アリト認メラレタル者

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ建築士タル資格ヲ有セス

- 一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者但シ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ノ免除ヲ得タル日ヨリ起算シテ三年ヲ經過セル者ハ此ノ限ニ在ラス

- 二 破産者ニシテ復權ヲ得サル者
- 三 建築士ノ業務ノ停止ノ期間中其ノ

業務ヲ廢止シ未タ其ノ期間ノ經過セサル者

- 四 建築士ノ業務ノ禁止ノ處分ヲ受ケタル者但シ其ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ起算シ三年ヲ經過シ主務大臣ニ於テ改悛ノ情顯著ナリト認メタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第五條 建築士ハ自ラ左ノ業務ヲ營ミ又ハ左ノ業務ヲ營ム者ノ使用人タルコトヲ得ス

- 一 土木建築ニ關スル請負業
- 二 建築材料ニ關スル商工業又ハ製造業

第六條 建築士タラムトスル者ハ建築士登錄簿ニ登錄ヲ受クルコトヲ要ス

建築士ノ登錄ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 建築士ノ登錄ヲ受ケムトスル者ハ登錄料トシテ二十圓ヲ納付スヘシ

第八條 建築士ハ主務大臣ノ監督ニ屬ス

第九條 建築士本法ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ品位ヲ失墜スヘキ行爲若ハ業務上不正ノ行爲ヲ爲シタルトキハ主務大臣ハ建築士懲戒委員會ノ議決ニ依リ之ヲ懲戒スルコトヲ得

第十條 建築士懲戒委員會ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

- 一 誹責
- 二 千圓以下ノ過料
- 三 一年以内建築士ノ業務ノ停止
- 四 建築士ノ業務ノ禁止

前項第二號ノ過料ヲ完納セサルトキハ主務大臣ノ命令ヲ以テ之ヲ執行ス

非訟事件手續法第二百八條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ執行ニ付之ヲ準用ス

第十一條 登錄ヲ受ケシテ建築士ト稱シタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ付之ヲ準用ス

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ノ適用ニ付テハ明治十三年第三十六號布告刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年以上ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

本法施行ノ際迄引續キ一年以上上建築ノ實務ニ従事シタル者ハ本法施行ノ日ヨリ五年以内ニ出願シタルトキニ限り第二條第一項第二號ノ規定ニ拘ラス建築士試験委員ノ銓衡ヲ經テ建築士タルコトヲ得

〔手代木隆吉君登壇〕

○手代木隆吉君 只今上程ニナリマシタ建築士法案ハ、政友會ノ岡田忠彥君、熊谷直太君、兒玉右二君、星島二郎君、民政黨ノ増田義一君、野村嘉六君、多田滿長君、竝ニ不肖ノ提出ニ係ルモノデアリマスルガ、提案者ヲ代表致シマシテ、私ヨリ簡單ニ其趣旨ヲ辯明致シタイト思ヒマス、建築ガ個人ノ生命ニ關シ、又一般社會ノ安寧秩序、保健衛生、又都市ノ美觀ニ關係ノアルコトハ言フ迄モアリマセヌ、建築其モノハ財産ノ要素ヲ作ッテ居ルノデアリマスルガ、御承知ノ通り近時此建築ガ非常ニ進展ヲ致シマシテ、其關係ガ複雑機微ナル事態ノ發生ヲ見ルコトハ、昔ノ比デハナイノデアリマス、隨テ此建築ニ關シ、其設計、監督ヲ爲ス所ノ制度ヲ設ケナケレバナラスコトハ、言フ

迄モナイノデアリマスレドモ、現在ニ至ル迄我國ニハ其制度ノ制定ガナイノデアリマス、洵ニ遺憾千萬ナコトデアルト考ヘルノデアリマス、殊ニ是等ノ制度ハ、大都市ノ建築ニ取ッテ洵ニ必要デアルト考ヘルノデアリマス、御承知ノ如ク都市ニ對シマシテハ、都市計畫法又市街地建築物法ト云フ、二ツノ法律ガ制定セラレテ居リマス、此法律ノ中ニハ、主管大臣ハ建築物ノ構造、設備、又ハ衛生上、保安上、防火構造、左様ナル必要ナモノニ付テハ、規定ヲ設ケ得ル所ノ制度ニナッテ居ルノデアリマス、而シテ今日、我國七十餘ノ都市ニハ、此市街地建築物法ガ實施セラレテ居ルノデアリマス、故ニ府縣ニ依リマシテハ、此建築ノ完全ヲ期シマス爲ニ、府縣ガ縣令ヲ以テ市町村其他公共團體、或ハ公益團體、又ハ之ニ類スルモノニ對シテ、其建築ニ對シテ設計及調査監督、ソレ等ノ委託ヲ受クル所ノ規則ヲ發布致シマシテ、是等ノ建築ニ對シマシテ完全ヲ期シテ居ル所ガ相當アルノデアリマス、左様ナ次第モアリマスルガ、是等ノ當務者ト致シマシテ、專門ノ人デ教養ヲ有シ、經驗ヲ有ッテ居ル、國法上ノ責任ヲ執ル所ノ者ヲ指定致スト云フコトガ、洵ニ緊要ナコトデアルト考ヘルノデアリマス、左様ナ所ヨリ致シマシテ、茲ニ一定ノ資格、條件ヲ定メマシテ、ソレ等ノ者ニ只今申述ベマシタヤウナ、此目的ニ對シテ責任ヲ執ルシムルト云フコトニ致シタイト云フノガ、本法案ノ趣旨デアリマス、而シテ此法案ハ、第五十六議會及第六十五議會ニ於キマシテ、衆議院ノ可決ヲ得テ居ルノデアリマシテ、貴族院ニ於テ遂ニ審議未了ニ終ッテ居ルノデアリマスルガ、此完成ハ一日モ速カナル

ノ必要ガアル譯デアリマシテ、今回更ニ茲ニ提案ヲ致シタノデアリマス、此法案ノ建前ハ辦理士法ト同ジ形式、同ジ方針ニ依ッテ立案ヲ致シテ居ルノデアリマス、何卒此趣旨ニ御賛成下サイマシテ、御審議ノ上ニ速ニ協賛ヲ與ヘラレコトヲ望ミマス（拍手）

○議長（濱田國松君） 別ニ質疑ノ通告ハアリマセヌ

○青木雷三郎君 本案ハ田中祐四郎君外二名提出、衛生組合法案外四件委員ニ、併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長（濱田國松君） 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（濱田國松君） 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ——日程第七及第八ハ、同一委員ニ付託セル議案ナルニ依リ、一括議題トナスニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（濱田國松君） 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第七、家祿賞典祿給與未済ニ關スル法律案、日程第八、郷又ハ町村祿高ニ對シ公債證書給與ニ關スル法律案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——理事井上知治君

第七 家祿賞典祿給與未済ニ關スル法律案（八田宗吉君外七名提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

第八 郷又ハ町村祿高ニ對シ公債證書給與ニ關スル法律案（寺田市正君外三名提出）

第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書

一家祿賞典祿給與未済ニ關スル法律案（八田宗吉君外七名提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十年二月十四日

委員長 田口 文次

衆議院議長濱田國松殿

報告書

一 郷又ハ町村祿高ニ對シ公債證書給與ニ關スル法律案（寺田市正君外三名提出）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十年二月二十一日

理事 井上 知治

衆議院議長濱田國松殿

〔井上知治君登壇〕

○井上知治君 只今上程サレマシタル家祿賞典祿給與未済ニ關スル法律案、竝ニ郷又ハ町村祿高ニ對シ公債證書給與ニ關スル法律案、右兩案ノ委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告致シマス、家祿賞典祿給與未済ニ關スル法律案ノ委員會ハ、去ル十四日開カレタ熱心ニシテ且又剴切ナル賛成意見ノ陳述ガアリマシタ、之ニ對シマシテ他ノ委員、亦贊成ヲ表セラレタノデアリマススケレドモ、唯林平馬委員反對意見デアッタノデアリマス、併シ此法律案ハ既ニ今日マデ六回本院ヲ通過致シタ案デアリマスルカラ、滿場一致可決セラレタノデアリマス

次ハ郷又ハ町村祿高ニ對シ公債證書給與ニ關スル法律案、此法律案ノ委員會ハ去ル二十一日開會サレマシテ、提案者寺田市正君ノ詳細ナル御説明ガアリマシテ、各委員トモ皆賛意ヲ表セラレ可決シタノデアリマス、御承知ノ如ク此法案モ、既ニ何回トナク本院ヲ通過致シタ案デアリマスルシ、且又昨年ノ如キハ、貴族院ニ於テ同情アル論議ガ重ネラレタヤウナ次第デアッタノデアリマス、此段御報告申シマシテ、皆サン方ノ御賛成ヲ仰グ次第デアリマス（拍手）

○議長（濱田國松君） 此際政府ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス、之ヲ許シマス——内閣總理大臣岡田啓介君

（國務大臣岡田啓介君登壇）

○國務大臣（岡田啓介君） 今回議員提出ニ係ル家祿賞典祿ニ關スル二ツノ法律案ニ對シマシテハ、政府ハ同意致シ難イコトヲ申上ゲテ置キマス、其理由ハ本會議及委員會ニ於ケル政府委員ノ説明ニ依リ御諒承ヲ願ヒマス

○議長（濱田國松君） 兩案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（濱田國松君） 御異議ナシト認メマス、仍テ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○青木雷三郎君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長（濱田國松君） 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（濱田國松君） 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

家祿賞典祿給與未済ニ關スル法律案 第二讀會（確定議）

郷又ハ町村祿高ニ對シ公債證書給與ニ關スル法律案 第二讀會（確定議）

○議長（濱田國松君） 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、兩案トモ委員長報告通り可決確定致シマシタ（拍手）日程第九乃至第二十八ハ建議委員ニ付託シタル議案ナルニ依リ、一括シテ議題トナスニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長（濱田國松君） 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第九、敦賀清津羅津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案外十九件ヲ一括シテ議題ト致シマス、建議委員長ノ報告ヲ求メマス——田中祐四郎君

第九 敦賀清津羅津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案（熊谷五右衛門君提出）

第十 諫早早岐間ガソリンカー運轉開始ニ關スル建議案（佐保畢雄君提出）

第十一 大阪市内貫通西成線高架改築ニ關スル建議案（上田孝吉君外一名提出）

第十二 尼崎三田間ガソリンカー運轉ニ關スル建議案（蔭山貞吉君提出）

第十三 常願寺川改修ニ關スル建議案（石坂豐二君外五名提出）

第十四 藏王山一帯地域國立公園指定ニ關スル建議案（佐々木家壽治君外一名提出）

第十五 棉花耕作助成ニ關スル建議案
(佐藤庄太郎君外二名提出)

第十六 銑鐵輸入關稅免除其ノ他ニ關スル建議案(蔭山貞吉君外五名提出)
(委員長報告)

第十七 石炭鐵道運賃低減ニ關スル建議案(鈴木辰三郎君外二名提出)
(委員長報告)

第十八 常磐炭鐵道運賃低減ニ關スル建議案(中井川浩君外一名提出)
(委員長報告)

第十九 阪神間ニ大防波堤構築ニ關スル建議案(蔭山貞吉君外六名提出)
(委員長報告)

第二十 阪神間ニ大防波堤構築ニ關スル建議案(前田房之助君外七名提出)
(委員長報告)

第二十一 御影芦屋川間ニ防潮護岸堤構築ニ關スル建議案(蔭山貞吉君提出)
(委員長報告)

第二十二 芦屋川御影間防潮堤構築ニ關スル建議案(前田房之助君外三名提出)
(委員長報告)

第二十三 地方稅制限ニ關スル法律中改正ニ關スル建議案(高田耘平君外五名提出)
(委員長報告)

第二十四 地方稅制限ニ關スル法律中改正ニ關スル建議案(近藤壽市郎君外七名提出)
(委員長報告)

第二十五 林業振興ニ關スル建議案(高田耘平君外五名提出)
(委員長報告)

第二十六 林業振興ニ關スル建議案(近藤壽市郎君外六名提出)
(委員長報告)

第二十七 森林火災保險國營ニ關スル建議案(高田耘平君外五名提出)
(委員長報告)

第二十八 森林火災保險國營ニ關スル建議案(近藤壽市郎君外六名提出)
(委員長報告)

敦賀清津羅津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案
敦賀清津羅津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案

環海我カ國ノ如キハ航路ノ擴張及海陸聯絡設備ノ急要ナル固ヨリ論ヲ俟タス今ヤ滿洲國ハ獨立シテ吉會鐵道其ノ完成ヲ告ケ北滿ノ物資輸送上及歐露方面ヨリノ交通貿易上大陸ト本土トノ聯絡ヲ近接急速ナラシムルノ必要切ナリ而シテ清津羅津又ハ雄基敦賀間ノ航路ハ此ノ聯絡上最捷徑ニシテ殊ニ敦賀港ハ本土内ニ於テモ鐵道ニ依リ旅客貨物資ヲ京阪地方ハ勿論直ニ關東地方ニ運送スルニ至便ノ地ナリ斯ノ如ク右聯絡航路ハ交通貿易上及軍事外交上實ニ國運發展ノ爲最急要ナル交通路ナリト認ム

現在北日本汽船會社ニ於テ清津敦賀間ヲ僅ニ月三回往復スル新高丸アリト雖將來ノ發展ニ資スルニ足ラス依テ政府ハ速ニ計畫ヲ樹テ國費ニ依リ少クモ五千噸級以上ノ船舶ヲ以テ每週二三回宛敦賀清津羅津又ハ雄基間ノ特急航路ヲ開始セラレムコトヲ望ム
右建議ス

報告書

一敦賀清津羅津又ハ雄基間聯絡特急航路開始ニ關スル建議案(熊谷五右衛門君

提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十年二月九日

衆議院議長濱田國松殿
建議委員長 田中祐四郎

諫早早岐間ガソリンカー運轉開始ニ關スル建議案
諫早早岐間ガソリンカー運轉開始ニ關スル建議案

長崎本線タル平坦線ノ開通ニ依リ元本線タリシ諫早、早岐間ハ全ク閑却セラレ列車ノ連絡惡シク且運轉回數少キヲ以テ地方民ハ非常ナル不便ト不幸トヲ感スルノミナラス諫早、大村、早岐間ヲ往復スル多數男女學生並海軍軍人諸士ノ不便殊ニ甚シキモノアリ依テ諫早早岐間ニ「ガソリンカー」ノ運轉ヲ開始セラレ之カ緩和ヲ圖ラレムコトヲ望ム
右建議ス

報告書
一諫早早岐間ガソリンカー運轉開始ニ關スル建議案(佐保畢雄君提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十年二月九日

衆議院議長濱田國松殿
建議委員長 田中祐四郎

大阪市内貫通西成線高架改築ニ關スル建議案
大阪市内貫通西成線高架改築ニ關スル建議案

福知山線尼崎三田間「ガソリンカー」運轉ハ既ニ當局ニ於テモ其ノ必要ヲ認メラル所ニシテ嘗テ試運轉其ノ他ノ調査ヲ行

ニ重要ナル使命ヲ帶ヒ其ノ機能ヲ十分ニ發揮シツツアリ然ルニ同線ハ衝鋒鎗雜人家密集セル繁華街ヲ貫キ殊ニ最近「ガソリンカー」ノ運轉ニ依リ運轉回數ノ激増ヲ來シ爲ニ多數ノ踏切ハ繁雜ナル交通ヲ阻害シテ不測ノ損害ヲ與ヘ或ハ人命ノ危險ニ曝サルルモノ亦少カラズ民衆ノ蒙ル不利不便洵ニ甚大ナルモノアリ政府ハ曩ニ城東線及東海道線ノ高架改築ヲ斷行シテ市民ノ福利増進ニ資セラレ今ヤ本線ト一部併行セル阪神電車線モ近ク高架ニ改築セラレムトス此ノ秋ニ當リ西成線ノ高架改築決行ハ沿線住民ハ勿論汎ク大阪市民ノ願望シテ已マサル所ナリ故ニ政府ハ本線ノ重要性ニ鑑ミ之ヲ旅客並貨物輸送ニ最適切ナルヤウ高架改築ヲ速ニ實現シ以テ大阪市ノ發展ト市民ノ福祉増進トニ貢獻セラレムコトヲ望ム
右建議ス

報告書
一大阪市内貫通西成線高架改築ニ關スル建議案(上田孝吉君外一名提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十年二月九日

衆議院議長濱田國松殿
建議委員長 田中祐四郎

尼崎三田間ガソリンカー運轉ニ關スル建議案
尼崎三田間ガソリンカー運轉ニ關スル建議案

福知山線尼崎三田間「ガソリンカー」運轉ハ既ニ當局ニ於テモ其ノ必要ヲ認メラル所ニシテ嘗テ試運轉其ノ他ノ調査ヲ行

ニ重要ナル使命ヲ帶ヒ其ノ機能ヲ十分ニ發揮シツツアリ然ルニ同線ハ衝鋒鎗雜人家密集セル繁華街ヲ貫キ殊ニ最近「ガソリンカー」ノ運轉ニ依リ運轉回數ノ激増ヲ來シ爲ニ多數ノ踏切ハ繁雜ナル交通ヲ阻害シテ不測ノ損害ヲ與ヘ或ハ人命ノ危險ニ曝サルルモノ亦少カラズ民衆ノ蒙ル不利不便洵ニ甚大ナルモノアリ政府ハ曩ニ城東線及東海道線ノ高架改築ヲ斷行シテ市民ノ福利増進ニ資セラレ今ヤ本線ト一部併行セル阪神電車線モ近ク高架ニ改築セラレムトス此ノ秋ニ當リ西成線ノ高架改築決行ハ沿線住民ハ勿論汎ク大阪市民ノ願望シテ已マサル所ナリ故ニ政府ハ本線ノ重要性ニ鑑ミ之ヲ旅客並貨物輸送ニ最適切ナルヤウ高架改築ヲ速ニ實現シ以テ大阪市ノ發展ト市民ノ福祉増進トニ貢獻セラレムコトヲ望ム
右建議ス

ヒタルモ經費特ニ一部改良工事ノ關係上
延期セラレタルヤニ仄聞ス然ルニ當區間
住民ハ最近ノ交通頻繁ナルニ鑑ミ之カ實
施ヲ翹望セルヤ久シ仍テ政府ハ此ノ際速
ニ之カ實現ヲ圖ラレムコトヲ望ム
右建議ス

報告書

一 尼崎三田間ガソリンカー運轉ニ關スル
建議案(蔭山貞吉君提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和十年二月九日

建議委員長 田中祐四郎

衆議院議長濱田國松殿

常願寺川改修ニ關スル建議案

常願寺川改修ニ關スル建議

政府ハ速ニ富山縣常願寺川ノ改修ニ著手
セラレムコトヲ望ム
右建議ス

報告書

一 常願寺川改修ニ關スル建議案(石坂豐
一君外五名提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和十年二月九日

建議委員長 田中祐四郎

衆議院議長濱田國松殿

藏王山一帯地域國立公園指定ニ關スル
建議案

藏王山一帯地域國立公園指定ニ關ス
ル建議

宮城山形兩縣下ニ跨ル藏王山一帯ノ地域

官報號外 昭和十年二月二十四日 衆議院議事速記第十八號

ヲ國立公園ニ指定セラレムコトヲ望ム
右建議ス

報告書

一 藏王山一帯地域國立公園指定ニ關スル
建議案(佐々木家壽治君外一名提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和十年二月九日

建議委員長 田中祐四郎

衆議院議長濱田國松殿

棉花耕作助成ニ關スル建議案

棉花耕作助成ニ關スル建議

内地ニ於テ棉花ヲ耕作スル者ニ對シ其ノ
作付段別一段歩ニ付金十圓乃至十五圓ヲ
助成金トシテ交付セラレムコトヲ望ム
右建議ス

報告書

一 棉花耕作助成ニ關スル建議案(佐藤庄
太郎君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和十年二月九日

建議委員長 田中祐四郎

衆議院議長濱田國松殿

鐵鐵輸入關稅免除其ノ他ニ關スル建議
案

鐵鐵輸入關稅免除其ノ他ニ關スル建
議

政府ハ鐵鐵ノ供給不足ヲ緩和スル爲之カ
輸入ニ對シ一時關稅ヲ免除シ且其ノ他適
當ナル方策ヲ定メ價格ノ暴騰ヲ抑制スル
ヤウ緊急處置ヲ講セラレムコトヲ望ム
右建議ス

報告書

一 鐵鐵輸入關稅免除其ノ他ニ關スル建議
案(蔭山貞吉君外五名提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和十年二月九日

建議委員長 田中祐四郎

衆議院議長濱田國松殿

石炭鐵道運賃低減ニ關スル建議案

石炭鐵道運賃低減ニ關スル建議

政府ハ石炭鐵道運賃ノ低減ヲ速ニ斷行セ
ラレムコトヲ望ム
右建議ス

常磐炭鐵道運賃低減ニ關スル建議案

常磐炭鐵道運賃低減ニ關スル建議

政府ハ常磐炭鐵道運賃ノ低減ヲ速ニ斷行
セラレムコトヲ望ム
右建議ス

報告書

一 石炭鐵道運賃低減ニ關スル建議案(鈴
木辰三郎君外二名提出)
一 常磐炭鐵道運賃低減ニ關スル建議案(中
井川浩君外一名提出)
右ハ本院ニ於テ兩案ヲ併合シ表題ヲ「常
磐炭鐵道運賃低減ニ關スル建議」ト爲シ
別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段
及報告候也
昭和十年二月九日

建議委員長 田中祐四郎

衆議院議長濱田國松殿

常磐炭鐵道運賃低減ニ關スル建議

(別紙)

政府ハ常磐炭鐵道運賃ノ低減ヲ速ニ斷行

セラレムコトヲ望ム
右建議ス

阪神間ニ大防波堤構築ニ關スル建議案
阪神間ニ大防波堤構築ニ關スル建議
這般ノ風水害ニ際シテハ阪神間ハ特ニ高
潮ノ大襲來ヲ受ケ本邦經濟界ノ心臟部ニ
一大打撃ヲ與ヘラレタリ乃チ之カ復舊並
興隆ニハ大防波堤ヲ構築スルノ必要アリ
ト認ム故ニ政府ハ速ニ之カ計畫ヲ立案シ
其ノ實現ヲ期セラレムコトヲ望ム
右建議ス

阪神間ニ大防波堤構築ニ關スル建議案

這般ノ關西地方ノ大風水害ハ阪神一帯ニ
於テ最激甚ヲ極メ浸水又ハ破壊セラレタ
ル工場住宅夥シク船舶漁船ノ流失人畜ノ
被害等慘狀甚シク其ノ慘禍ハ嘗テ見サル
所ナリ而シテ阪神地方ハ風土氣候水陸交
通ノ關係上人口年々激増シ住宅擁比セル
上ニ商業亦近時異常ナル發展ヲナシ今
ヤ同地方ノ工業額ハ年二億數千萬圓ニ達
スルノ狀態ニアリ故ニ神戸大阪兩港間ニ
大防波堤ヲ構築シテ大運河ヲ構成シ一ハ
以テ阪神一帯ノ災害ヲ恆久的ニ防止シ他
面海岸沿線ヲ埋立整理シ大工場地帯ヲ建
設スルハ我カ國工業發達ノ爲將亦輸出貿
易促進上極メテ緊要ナリト認ム仍テ政府
ハ速ニ之カ計畫ヲ立案シ國庫補助ヲ以テ
實現ヲ期セラレムコトヲ望ム
右建議ス

報告書

一 阪神間ニ大防波堤構築ニ關スル建議案
(蔭山貞吉君外六名提出)

一 阪神間ニ大防波堤構築ニ關スル建議案
(前田房之助君外七名提出)

右ハ本院ニ於テ兩案ヲ併合シ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十年二月九日

建議委員長 田中祐四郎
衆議院議長濱田國松殿

〔別紙〕

阪神間ニ大防波堤構築ニ關スル建議案
這般ノ風水害ニ際シテハ阪神間ハ特ニ高潮ノ大襲來ヲ受ケ本邦經濟界ノ心臟部ニ一大打擊ヲ與ヘラレタリ乃チ之カ復舊並興隆ニハ大防波堤ヲ構築スルノ必要アリト認ム故ニ政府ハ速ニ之カ計畫ヲ立案シ其ノ實現ヲ期セラレムコトヲ望ム
右建議ス

御影芦屋川間ニ防潮護岸堤構築ニ關スル建議案
御影芦屋川間ニ防潮護岸堤構築ニ關スル建議案

政府ハ這般ノ風水害ニ鑑ミ速ニ御影芦屋川間ニ防潮護岸堤ヲ構築セラレムコトヲ望ム
右建議ス

芦屋川御影間防潮堤構築ニ關スル建議案
芦屋川御影間防潮堤構築ニ關スル建議案

政府ハ這般ノ大風水害ノ實情ニ鑑ミ將來ノ災害ヲ防止スル爲メ芦屋川御影間ニ防潮堤ヲ構築セラレムコトヲ望ム
右建議ス

報告書
一 御影芦屋川間ニ防潮護岸堤構築ニ關スル建議案

ル建議案(陸山貞吉君提出)

一 芦屋川御影間防潮堤構築ニ關スル建議案
(前田房之助君外三名提出)

右ハ本院ニ於テ兩案ヲ併合シ表題ヲ「御影芦屋川間ニ防潮護岸堤構築ニ關スル建議」ト爲シ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十年二月九日

建議委員長 田中祐四郎
衆議院議長濱田國松殿

〔別紙〕

御影芦屋川間ニ防潮護岸堤構築ニ關スル建議案
御影芦屋川間ニ防潮護岸堤構築ニ關スル建議案

政府ハ這般ノ風水害ニ鑑ミ速ニ御影芦屋川間ニ防潮護岸堤ヲ構築セラレムコトヲ望ム
右建議ス

地方稅制限ニ關スル法律中改正ニ關スル建議案
地方稅制限ニ關スル法律中改正ニ關スル建議案

山林ニ對スル特別稅段別割ハ他ノ地目ノ夫レニ比シ負擔奇重ノ爲山林所有者ノ被ル打擊甚大ナルモノアルヲ以テ明治四十四年法律第三十七號地方稅制限ニ關スル法律ヲ改正セラレムコトヲ望ム
右建議ス

山林ニ對スル特別稅段別割ハ他ノ地目ノ夫レニ比シ負擔奇重ノ爲山林所有者ノ被ル打擊甚大ナルモノアルヲ以テ明治四十四年法律第三十七號地方稅制限ニ關スル法律ヲ改正セラレムコトヲ望ム
右建議ス

地方稅制限ニ關スル法律中改正ニ關スル建議案
地方稅制限ニ關スル法律中改正ニ關スル建議案

山林ニ對スル特別稅段別割ハ他ノ地目ノ夫レニ比シ負擔奇重ノ爲山林所有者ノ被ル打擊甚大ナルモノアルヲ以テ明治四十四年法律第三十七號地方稅制限ニ關スル法律ヲ改正セラレムコトヲ望ム
右建議ス

一年法律第三十七號地方稅制限ニ關スル法律ヲ改正セラレムコトヲ望ム
右建議ス

報告書

一 地方稅制限ニ關スル法律中改正ニ關スル建議案(高田耘平君外五名提出)

一 地方稅制限ニ關スル法律中改正ニ關スル建議案(近藤壽市郎君外七名提出)
右ハ本院ニ於テ兩案ヲ併合シ別紙ノ通(内容同一)修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十年二月九日

建議委員長 田中祐四郎
衆議院議長濱田國松殿

〔別紙〕

地方稅制限ニ關スル法律中改正ニ關スル建議案
地方稅制限ニ關スル法律中改正ニ關スル建議案

山林ニ對スル特別稅段別割ハ他ノ地目ノ夫レニ比シ負擔奇重ノ爲山林所有者ノ被ル打擊甚大ナルモノアルヲ以テ明治四十四年法律第三十七號地方稅制限ニ關スル法律ヲ改正セラレムコトヲ望ム
右建議ス

林業振興ニ關スル建議案
林業振興ニ關スル建議案

我カ國森林業發達ノ跡ヲ觀ルニ國有林、御料林ハ稍々其ノ緒ニ就ケルモ一般民有林ハ不振ヲ極ム斯ノ如ク跛行的發展過程ヲ辿レルハ帝國森林政策上最考慮ヲ要スヘキ所ニシテ民間林業振興上之カ對策ハ多々アルヘシト雖差詰メ急施ヲ要スルハ左ノ諸項ト認ム
一 林道開設助成ニ關スル事項
森林資源ノ利用開發上將又疲弊困憊セ

ル山村經濟更生上林道開設ハ最效果のニシテ農村救事業費ノ激減並救事業打切後ニ於ケル措置對策トシテモ必要ナルノミナラス山村經濟ノ根本的更生ヲ期セムカ爲積極的ニ林道開設助成ノ對策樹立ハ最急施ヲ要スルモノト認ム

二 森林金融機關ノ改善ニ關スル事項

森林金融ノ疏通ヲ圖ルハ刻下ノ最大急務ニシテ現在ノ不動產銀行ノ機能ヲ以テシテハ到底其ノ要望ヲ滿ス能ハサルハ瞭ナル所ナリ仍テ政府ハ森林銀行法並森林信託會社法ヲ制定シ以テ森林金融ノ改善ヲ圖ルノ要アリト認ム

三 林產物ノ價格統制ニ關スル事項

林業界ノ悲境打開上最急施ヲ要スルハ林產物ノ價格統制ヲ圖ルニアリ仍テ政府ハ木材等林產物ノ價格統制昂上ヲ圖ラムカ爲左ノ各項ニ依リ其ノ實現ニ努ムルノ要アリト認ム

(1) 國有林其ノ他官廳所管ノ森林斫伐量ヲ調節シ以テ木材需給關係統制ノ下ニ木材價格ノ維持昂上ヲ圖ルコト

(2) 北海道並樺太廳所管ノ森林行政ヲ農林省ニ移管統一シ且其ノ他ノ植民地林業トノ聯絡ヲ密ニシ以テ森林施業ノ合理的統制ヲ圖ルコト

(3) 國有林野特別會計法ヲ制定シ森林斫伐量並森林收入ノ調節ヲ圖ルコト

(4) 官營木炭ノ生産量ヲ調節シ民營施業ノ受クル壓迫ヲ除去スルコト

四 幼齡林ノ過伐防止ノ爲低利資金融通ニ關スル事項
山村ニ於ケル森林金融梗塞ノ結果ハ濫

ニ幼齡未熟ノ森林ヲ過伐濫採スルヲ以テ將來我カ帝國ノ森林資源涵養上大ナル不安ヲ招來シツツアルハ憂慮ニ堪ヘサル所ナリ仍テ政府ハ刻下ノ實情ニ即シ特ニ幼齡森林ニ對スル金融ヲ圖ラムカ爲低利資金ノ融通ヲ圖ルノ要アリト認ム

政府ハ如上ノ各項ニ付其ノ實現ヲ圖ラレムコトヲ望ム

右建議ス

林業振興ニ關スル建議案

林業振興ニ關スル建議

我カ國森林業發達ノ跡ヲ觀ルニ國有林、御料林ハ稍、其ノ緒ニ就ケルモ一般民有林ハ不振ヲ極ム斯ノ如ク跛行的發展過程ヲ迎レルハ帝國森林政策上最考慮ヲ要スヘキ所ニシテ民間林業振興上之方對策ハ多アルヘシト雖差詰メ急施ヲ要スルハ左ノ諸項ト認ム

一 林道開設助成ニ關スル事項

森林資源ノ利用開發上將又疲弊困憊セル山村經濟更生上林道開設ハ最效果のニシテ農村匡救事業費ノ激減並匡救事業打切後ニ於ケル措置對策トシテモ必要ナルノミナラス山村經濟ノ根本的更生ヲ期セムカ爲積極的ニ林道開設助成ノ對策樹立ハ最急施ヲ要スルモノト認ム

二 森林金融機關ノ改善ニ關スル事項

森林金融ノ疏通ヲ圖ルハ刻下ノ最大急務ニシテ現在ノ不動產銀行ノ機能ヲ以テシテハ到底其ノ要望ヲ滿ス能ハサルハ瞭ナル所ナリ仍テ政府ハ森林銀行法並森林信託會社法ヲ制定シ以テ森林金融ノ改善ヲ圖ルノ要アリト認ム

三 林產物ノ價格統制ニ關スル事項

林業界ノ悲境打開上最急施ヲ要スルハ林產物ノ價格統制ヲ圖ルニアリ仍テ政府ハ木材等林產物ノ價格統制昂上ヲ圖ラムカ爲左ノ各項ニ依リ其ノ實現ニ努ムルノ要アリト認ム

(1) 國有林其ノ他官廳所管ノ森林、斫伐量ヲ調節シ以テ木材需給關係統制ノ下ニ木材價格ノ維持昂上ヲ圖ルコト

(2) 北海道並樺太廳所管ノ森林行政ヲ農林省ニ移管統一シ且其ノ他ノ植民地林業トノ聯絡ヲ密ニシ以テ森林施業ノ合理的統制ヲ圖ルコト

(3) 國有林野特別會計法ヲ制定シ森林斫伐量並森林收入ノ調節ヲ圖ルコト

(4) 官營木炭ノ生産量ヲ調節シ民營施業ノ受クル壓迫ヲ除去スルコト

四 幼齡林ノ過伐防止ノ爲低利資金融通ニ關スル事項

山村ニ於ケル森林金融梗塞ノ結果ハ濫ニ幼齡未熟ノ森林ヲ伐採シ將來我カ帝國ノ森林資源涵養上大ナル不安ヲ招來シツツアルハ憂慮ニ堪ヘサル所ナリ仍テ政府ハ刻下ノ實情ニ即シ特ニ幼齡森林ニ對スル金融ヲ圖ラムカ爲低利資金ノ融通ヲ圖ルノ要アリト認ム

政府ハ如上ノ各項ニ付其ノ實現ヲ圖ラレムコトヲ望ム

右建議ス

報告書

一 林業振興ニ關スル建議案(高田耘平君外五名提出)

一 林業振興ニ關スル建議案(近藤壽市郎君外六名提出)

右ハ本院ニ於テ兩案ヲ併合シ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十年二月九日

建議委員長 田中祐四郎

衆議院議長濱田國松殿

(別紙)

林業振興ニ關スル建議

我カ國森林業發達ノ跡ヲ觀ルニ國有林、御料林ハ稍、其ノ緒ニ就ケルモ一般民有林ハ不振ヲ極ム斯ノ如ク跛行的發展過程ヲ迎レルハ帝國森林政策上最考慮ヲ要スヘキ所ニシテ民間林業振興上之方對策ハ多アルヘシト雖差詰メ急施ヲ要スルハ左ノ諸項ト認ム

一 林道開設助成ニ關スル事項

森林資源ノ利用開發上將又疲弊困憊セル山村經濟更生上林道開設ハ最效果のニシテ農村匡救事業費ノ激減並匡救事業打切後ニ於ケル措置對策トシテモ必要ナルノミナラス山村經濟ノ根本的更生ヲ期セムカ爲積極的ニ林道開設助成ノ對策樹立ハ最急施ヲ要スルモノト認ム

二 森林金融機關ノ改善ニ關スル事項

森林金融ノ疏通ヲ圖ルハ刻下ノ最大急務ニシテ現在ノ不動產銀行ノ機能ヲ以テシテハ到底其ノ要望ヲ滿ス能ハサルハ瞭ナル所ナリ仍テ政府ハ森林銀行法並森林信託會社法ヲ制定シ以テ森林金融ノ改善ヲ圖ルノ要アリト認ム

三 林產物ノ價格統制ニ關スル事項

林業界ノ悲境打開上最急施ヲ要スルハ林產物ノ價格統制ヲ圖ルニアリ仍テ政

府ハ木材等林產物ノ價格統制昂上ヲ圖ラムカ爲左ノ各項ニ依リ其ノ實現ニ努ムルノ要アリト認ム

(1) 國有林其ノ他官廳所管ノ森林斫伐量ヲ調節シ以テ木材需給關係統制ノ下ニ木材價格ノ維持昂上ヲ圖ルコト

(2) 北海道並樺太廳所管ノ森林行政ヲ農林省ニ移管統一シ且其ノ他ノ植民地林業トノ聯絡ヲ密ニシ以テ森林施業ノ合理的統制ヲ圖ルコト

(3) 國有林野特別會計法ヲ制定シ森林斫伐量並森林收入ノ調節ヲ圖ルコト

(4) 官營木炭ノ生産量ヲ調節シ民營施業ノ受クル壓迫ヲ除去スルコト

四 幼齡林ノ過伐防止ノ爲低利資金融通ニ關スル事項

山村ニ於ケル森林金融梗塞ノ結果ハ濫ニ幼齡未熟ノ森林ヲ伐採シ將來我カ帝國ノ森林資源涵養上大ナル不安ヲ招來シツツアルハ憂慮ニ堪ヘサル所ナリ仍テ政府ハ刻下ノ實情ニ即シ特ニ幼齡森林ニ對スル金融ヲ圖ラムカ爲低利資金ノ融通ヲ圖ルノ要アリト認ム

政府ハ如上ノ各項ニ付其ノ實現ヲ圖ラレムコトヲ望ム

右建議ス

森林火災保險國營ニ關スル建議案

森林火災保險國營ニ關スル建議案
森林火災保險ハ極メテ緊要ナル事業ニシテニ依リテ一朝有事ノ際ニ於ケル復興ニ資シ又當時金融ノ途ヲ開キ現下山村ノ窮乏及我カ邦林業ノ廢頽ヲ救フ最有效ナル施設ノ一ナリト認ム然ルニ之ヲ民營ト爲スニ於テハ未タ國民ノ期待ニ副ハス隔

靴搔痒ノ感切ナルモノアルヲ以テ政府ハ速ニ森林火災保險國營ノ實現ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

森林火災保險國營ニ關スル建議案

森林火災保險國營ニ關スル建議案
森林火災保險ハ極メテ緊要ナル事業ニシテ之ニ依リテ一朝有事ノ際ニ於ケル復興ニ資シ又常時金融ノ途ヲ開キ現下山村ノ窮乏及我カ邦林業ノ廢頽ヲ救フ最有效ナル施設ノ一ナリト認ム然ルニ之ヲ民營ト爲スニ於テハ未タ國民ノ期待ニ副ハス隔靴搔痒ノ感切ナルモノアルヲ以テ政府ハ速ニ森林火災保險國營ノ實現ヲ期セラレムコトヲ望ム

報告書

一 森林火災保險國營ニ關スル建議案 (高田 稔平君外五名提出)
一 森林火災保險國營ニ關スル建議案 (近藤 壽市郎君外六名提出)
右ハ本院ニ於テ兩案ヲ併合シ別紙ノ通(内容同一)修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十年二月九日

建議委員長 田中祐四郎

衆議院議長濱田國松殿

(別紙)

森林火災保險國營ニ關スル建議案

森林火災保險ハ極メテ緊要ナル事業ニシテ之ニ依リテ一朝有事ノ際ニ於ケル復興ニ資シ又常時金融ノ途ヲ開キ現下山村ノ窮乏及我カ邦林業ノ廢頽ヲ救フ最有效ナル施設ノ一ナリト認ム然ルニ之ヲ民營ト

爲スニ於テハ未タ國民ノ期待ニ副ハス隔靴搔痒ノ感切ナルモノアルヲ以テ政府ハ速ニ森林火災保險國營ノ實現ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

(田中祐四郎君登壇)

○田中祐四郎君 建議委員會ノ審査ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、昨日マデノ提出數ハ八百八件デアリマス、委員會ニ於キマシテハ、分科ヲ設ケマシテ慎重審議、一案毎ニ提案者ノ説明ヲ求メ、又政府ノ意見ヲ質シマシテ、可決スベキモノハ可決シ、修正スベキモノハ修正ヲ致シテ來テ居ルノデアリマス、建議案ヲ見マスルト、特ニ目ニ著キマスノハ、現下非常時日本ヲ反映スル國家精神ノ宣揚ヲ圖ル意味ノ議案デアリマス、大體ト致シマシテハ農付對策、風水害對策等ガ多ク提出セラレテ居リマス、次デ鐵道速成ノ建議、又ハ河川改修ト治水ニ關スル案件等ガ多數ニ出テ居ルノデアリマス、委員會ニ於キマシテ第三回マデノ審査終了ノ議案、即チ本日上程ノ二十件ニ付キマシテ簡單ニ申上ゲマス、可決致シタルモノハ八件デアリマシテ、併合修正シタルモノハ十二件デアリマス、此日程デ申シマスレバ、第九ヨリ第十六マデガ可決致シタルノデアリマシテ、第十七竝ニ第十八ハ併合致シ、十九、二十モ併合致シ、二十一、二十二モ併合致シ、二十三、二十四モ併合、二十五、二十六モ併合、二十七、二十八モ併合修正シタルデアリマシテ、此中棉花耕作助成ニ關スル建議ハ、人絹ノ進出ニ依リマシテ養蠶ノ衰退トナリ、其桑園ノ代作ト致シマシテ、棉花ノ耕作ヲ獎勵スルト云フコトガ最も適切デアル、斯ウ云フ意味ノ意見デア

リマス、紡績用ノ爲ノ輸入棉花ハ、九年度ニ於キマシテ七億五千万圓ト稱セラレテ居リマス、此紡績用ノ棉花ハ、我國ノ在來ノ棉花デハ適シナイ、舶來種デナイト適シナイト云フコトデアリマスルガ、之ヲ我が國內ニ耕作致シマシテ、相當成績ガ上ルト云フ見込モ立ッテ居ルヤウデアリマス、之ヲ桑園ノ整理代作ニ致スト云フコトハ、所謂農村ノ疲弊困憊ノ原因ヲ成シテ居ル、農村ノ困憊打開ノ一助トモナル譯デアリマセウシ、又巨額ノ輸入棉花ノ一部ノ防遏ノ一助トナル、斯ウ云フ考ヨリ致シマシテ、特ニ政府ニ此點ニ付テ注意ヲ望ミ、又政府モ十年度ノ豫算ニ於キマシテ、畑地ノ利用改善ト云フコトニ付テ、是等ノ研究ヲスルト云フ計畫ニナッデ居ルヤウデアリマス、旁ミソレニ拍車ヲ掛ケテ、此棉花耕作助成ニ關スル建議案ヲ可決スルコトガ適當デアル、斯ウ委員會ハ認メテ可決ヲシタルデアリマス、次ニ常願寺川改修ニ關スル建議デアリマスガ、是ハ會テ數千人ノ人命ヲ奪ヒ、巨額ノ民財ヲ流亡シタル所ノ、極メテ恐シイ川デアル、是ハ沿岸ニ於キマシテ非常ニ困ッデ居ルガ、富山縣ニハ改修ヲ要スル河川ガ多イ爲ニ兎角遍レテ取ッテ居ル、政府ノ方デモ、第三回ノ治水計畫ニ加ッテ居ルノデアリマスガ、其起工ガ遅レテ居ル、洵ニ同情スベキ點ガアルヤウデアリマスノデ、是ハ特ニ其促進ノ貫徹ヲ圖ル意味ニ於テ可決シタルデアリマス、次ニ銑鐵輸入關稅免除ノ件デアリマスガ、是モ極メテ急ヲ要スル問題デアリマスノデ、當局ニ向ッテ緊急處理ノ注意ヲ促シテ置キマシタルヤウナ譯デアリマス、此外災害對策ニ付

キマシテノ、御影芦屋川間ニ防潮護岸堤ヲ築造シタイト云フ建議ガアリマス、是等モ極メテ急ヲ要スル問題デアッテ、アノ大阪神戸間ニ於ケル、非常ニ繁榮ニ赴イテ居リマスル此土地柄ニ於テ、昨年九月ノ暴風災ニ因ル打撃ヲ復興スル爲ニハ是非共此施設ガ必要デアルト認メマシテ可決ヲ致シマシタ、是等四件ニ付キマシテハ、特ニ委員會ニ於キマシテ、本會議ニ報告ノ際ニ聲ヲ大ニシテ、一面ハ政府ニ對シ、又院內諸君ノ御注意ヲ惹クコトニ致シタイト云フ意味ヲ以チマシテ、茲ニ報告致シマシタ譯デアリマス、其他詳細ノコトハ、速記録ヲ御覽ヲ願ヒマシテ、御了知ヲ得タイト存ジマス、簡單ナガラ之ヲ以テ報告ヲ終リマス(拍手)

○議長(濱田國松君) 日程第九乃至第二十八ハ、一括シテ採擇ヲ致シマス、此二十件ノ中、日程第十七ト第十八、日程第十九ト第二十、日程第二十一ト第二十二、日程第二十三ト第二十四、日程第二十五ト第二十六、日程第二十七ト第二十八、以上ハ何レモ二案ヲ併合シテ一案トナシ、修正セラレタルモノデアリマス、其他ノ八件ハ、何レモ委員長報告ハ可決ニナッテ居リマス、以上二十件ハ委員長報告ノ通り決スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(濱田國松君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第九乃至第二十八、二十件ハ何レモ委員長報告ノ通り確定致シマシタ

○青木雷三郎君 先ニ後廻シトナシタル日程ハ延期スルコト、シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長（濱田國松君） 青木君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（濱田國松君） 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午時二時五十三分散會

衆議院議事速記録第十七號中
正誤

頁	段	行	誤	正
二九八	二	八	高田耕平君	富田幸次郎君
三〇〇	四	四	之農林省	又農林省
三〇一	二	三	アリマセヌカ	アリマセヌ
三一	三	三	氣事訴訟法	民事訴訟法
三一八	三	一六	上程ニツテ	上程ニナツテ

